

meiji 駿台倶楽部会報
 明治大学野球部OB会ニュース

発行 駿台倶楽部
 会長 吉川 芳登
 府中市若松町5-6-1
 明治大学野球部合宿所内
 電話番号(042)313-4134
 F A X番号(042)364-5605

リーグ戦

春秋連覇&

2022年は明治の年だった

秋の日本一

大会最多
7度目

明治神宮大会を制し記念写真に納まる明大ナイン



春秋連覇の先に秋の日本一が待っていた。秋季リーグ戦は9月10日に開幕。明大は慶大に勝ち点を落とししたものの9勝2敗1分の勝ち点4で見事42回目の優勝を達成。続く明治神宮大会では関大、名城大を破り決勝では国学院大を1-0で完封勝利。6年ぶり、大会最多の7回目の優勝を達成した。村田賢一投手(3年)春日部共栄)が1完封を含む2勝をマーク。春の大学選手権で敗れた雪辱を果たした。

田中武宏監督のもと戸塚俊美助監督、コーチ陣の指導に選手が応え、村松開人主将(4年)静岡)を先頭に全員野球で勝利をつかんだ。リーグ戦のベストナインには二塁手で村松(2回目)三塁手で上田希由翔(初)、一塁手で1回)遊撃手で宗山塁(3季連続)が獲得した。ドラフト会議では村松が中日から2位指名を受け入団、13年連続でドラフト指名となった。

今季の幹部も決定。主将には上田、副将には村田、菅原謙伸捕手(花咲徳栄)堀内祐我内野手(愛工大名電)、主務は森裕規(滝川)が務めることになった。

春の雪辱 果たした

村松主将中心に全員野球でつかんだ